

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	はばたき		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 10日		～ 令和 7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 22日		～ 令和 7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指定基準よりも多く職員配置をしており、支援体制の充実化を図っている。	指定基準よりも多く職員配置をしており、児童への対応をしやすい環境づくりをしている。	児童一人一人の特性に合わせて、活動や支援内容の充実化が求められると思う。 また、落ち着いて話をする時間を作り、困り事や悩み事を話せる場を作っていけるといい。
2	利用する児童が楽しんで利用してもらえるように、支援内容やプログラム内容の作成をしている。	活動内容のフィードバックを行い、利用する児童が楽しめる活動を考えています。	児童一人一人の特性に合わせて、活動や支援内容の充実化が求められると思う。
3	子どもの意見を聞き、楽しく参加できるように支援をしている。	プログラムの内容や行事、余暇の過ごし方など意見をなるべく取り込んで活動に反映しています。	より楽しく過ごせるにはどうするか？を考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	降車後に施設に入るまでの階段の危険度	降りる時のルールや声掛けで、事故やケガの無いように努めているが、転落等も想定される。	建物の関係上、完全バリアフリー化は難しいが、手すり等の対策が必要。
2	地域との交流が少ない。	移転して間もないため、地域との交流がない。	地域との関わりの機会を設けていく。
3	専門職の資格者による支援	作業療法士や理学療法士、言語聴覚士や心理士など専門的な能力が高い職員がいない。	人材確保や現職員のスキルアップ等が必要。